

有縁な地域実現にむけた別荘地住民へのインテーク(加東市)

- 関わりのない地域に対し、市や近隣地域が関わりを持ち、災害等の緊急時の支援の為の把握ができるようにする。
- 住民同士の関わりから閉じこもりの防止、交流を図り、孤独死をださない。

《ケース内容》

- ①68歳男性。脳出血後遺症により上下肢不全麻痺あり。他市より別荘地へ転居。妻と障がいの娘と3人暮らし。
- ②91歳の男性と妻の2人暮らし。本人が要介護状態。妻が車の運転をしており、すべての生活を支えている。
- ③85歳の男性と妻の2人暮らし。本人が要介護状態で在宅酸素療養中。玄関から道路まで傾斜が急で手すり等の住宅改修が必要。転居を考えるが、経済的な負担が大きい。
- ④別荘地に住む娘宅に、神戸から母親が転居した。母親が認知症で徘徊がある。山間部のため、行方不明等の事故になる可能性が高い。

